



国会議員は、選挙区等に生活の本拠を有しつつ、国会議事堂のある東京都心を中心に国会活動を行っています。そうした国会議員の在京生活や活動を円滑に遂行するための拠点として、両議院はそれぞれ議員宿舎を設置しています。

現在の参議院の議員宿舎は、千代田区麹町の麹町議員宿舎と千代田区紀尾井町の清水谷議員宿舎の2宿舎です。

まず、昭和23年に麹町議員宿舎が設置されました。その後の建て替えを経て、現在使用している宿舎の東西棟は昭和58年及び60年に建築されたものであり、築35年を迎えました。建築当時の生活様式からか、各住戸の間取りは和室の2DK又は3DKとなっています。また、平成9年には洋室も備えた2LDKの南棟が完成しました。南棟を合わせた戸数は146戸です。

もう一つの清水谷議員宿舎は昭和27年に設置されました。昭和44年に建て替えを行い、A棟(2DK)とB棟(2K)の間を管理事務室等のあるC棟がつながり構造となりました。なお、これも当時の生活様式からでしょうか、比較的狭いB棟の各住戸には浴室を設けず、居住議員は共同の浴室を使用していました。

清水谷議員宿舎は建築後およそ50年を経過しています。両端の一部住戸を廃止し耐震構造化のために用いる等の改修を行いましたので、震度6強程度の地震で倒壊するおそれはありません。しかし、改修の制約(耐震壁設置限界、基礎耐力の不足)から、罹災後に継続して宿舎を使用できる強度にまでは至りませんでした。

こうした事情を踏まえ、耐震性能を備えた宿舎へと建て替え工事が行われています。A棟を継続して使用しつつ、B棟及びC棟を取り壊し、その跡地に新宿舎を建築する計画です。平成31年度末を目途に新宿舎の入居を開始し、その後A棟を取り壊すこととなっています。新宿舎では3LDKと1LDKを計56戸整備しますが、建て替え前の58戸に比べ2戸減少することとなります。

さて、衆議院にも港区赤坂の赤坂議員宿舎(平成19年に建て替え・300戸)と港区六本木の青山議員宿舎(昭和36年及び37年に建築・40戸)の2宿舎があります。また、青山議員宿舎の老朽化への対応のため、現在、千代田区富士見の九段議員宿舎跡地(平成20年に閉鎖)の利用に係る検討を行っています。

参議院、衆議院の議員宿舎を簡単に紹介しました。いずれの宿舎も、時代に合わせて改善を図りつつ、国会議員の政治活動の本拠の一つとして国会活動を支えています。

なべたに あつし
(鍋谷 淳・前管理部管理課)